

3 年次編入試験 出題意図

1. 基本的な地学用語の理解を問う.
2. 大気の循環について基本的な理解を問う.
3. 地学分野で使われる化学的手法と気候変動記録の理解を問う.
4. 地質時代を推定する手法の一つである相対年代についての理解を問う.

令和7年度 信州大学理学部理学科地球学コース

3年次編入学試験問題

英語

理科（地学）

注意事項

1. 問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 解答用紙は問題冊子とは別になっているので、解答はすべて解答用紙に記入すること。
3. 英語の解答には、こちらで用意した英和辞書の使用を認める。
4. 解答用紙には、受験番号のみを記入し、氏名を書いてはいけない。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

信州大学理学部理学科地球学コース

英語問題は理学部入試事務室窓口で閲覧できます。

理科（地学） 以下の第1問～第4問の全問を解答せよ。

第1問. 以下の用語を説明しなさい。

- ア. 河岸段丘
- イ. 主系列星
- ウ. エルニーニョ現象
- エ. 湧昇流
- オ. 続成作用

第2問. 以下の文章を読んで問いに答えよ。

大気の循環は、低緯度と高緯度の温度差を解消する役割を果たしている。その一つがハドレー循環である。この循環では、赤道で（ア）した大気は高緯度へ向かい、緯度 $20 \sim 30^\circ$ 付近で（イ）する。このため、緯度 $20 \sim 30^\circ$ 付近には（ウ）帯ができる。地表付近では（ウ）帯から赤道に向かって貿易風が吹き出している。この風により赤道には（エ）帯が形成される。このため赤道付近は（オ）の気候になり、緯度 $20 \sim 30^\circ$ 付近は（カ）した気候になる。

- (1) （ ）内に適切な用語を入れよ。
- (2) 貿易風は北半球ではどの方向に向かって吹くか。

第3問. 次の問に答えよ。

問 地質時代では気候変動が繰り返している。特に第四紀では気候変動の周期性が解明されている。このような気候変動を知るために使われる同位体を示し、同位体の変動と気候変動の関係を説明しなさい。

第4問. 次の問に答えよ。

問 右図はある地域で見られた垂直な露頭のスケッチを示している。A～DおよびGは堆積岩、Eは断層、Fは花崗岩である。地層の逆転はないものとする。A～Gの形成順序を答えよ。

